

平成 27 年 5 月吉日

1 理事長ご挨拶

公益財団法人深井奨学財団

理事長 住田 笛雄

お礼と報告

2014 年度は、「深井奨学財団（戸山高校奨学基金）」に、総件数 243 件で個人会員、毎年のように多額のご寄附を頂戴する会員諸兄、昭 32 年卒同期会と城北会からは多大のご寄附を頂戴し、総額 5,064,630 円（予算：3,000,000 円）のご寄附を頂きました。厚く御礼申し上げます。

2014 年度から新たにはじめた「東京都立戸山高等学校の総合的な教育活動に対する助成」（戸山教育助成）事業に対しては、昭 39 年同期会、及び 18 名の個人会員から合計 20 万円の寄附を頂戴し、初年度の事業を実施できたこと御礼申し上げます。なお、寄附者のご氏名のみは本誌第 63 号に掲載させていただき謝意を表します。

財団の 2014 年度の奨学事業実績は、深井奨学給費生 35 名（内訳、戸山高校生 31 名、その他都立高校生 4 名）に 412 万円、大学入学お祝い金は、14 名（1 人 24 万円）の 336 万円。奨学金合計 748 万円を給付することが出来ました。

また、戸山教育助成事業実績は、「米国サイエンス研修」（主にスワフト大学の訪問）に参加する SSH の生徒 4 名に対し、一人当たり 5 万円計 20 万円の給付を実施致しました。

2015 年度の奨学事業計画は、深井奨学生 36 名に月々 1 万円の給付と大学入学祝い金一人当たり 24 万円を 14 名に給付する公益目的奨学事業に 932 万円の予算を組みました。

また、将来を展望すれば、海外研修奨学助成の重要性が増すことは必須と考え、戸山生に限った海外研修奨学助成を主体に、戸山教育助成予算 66 万円を組みました。総事業予算は、公益目的奨学事業費、戸山教育助成事業費、管理費等を含め合計 1,037 万円余の予算を計上致しました。

今年の 2015 年度事業計画書並びに収支予算書を組むに当たり、会員皆様からの奨学基金寄附金収入に頼らざるを得ず、奨学寄附金収入予算は 300 万円を計上しております。また、税制の優遇措置が受けられない「使途指定（戸山教育助成）寄附金」収入予算は、66 万円余を計上致しております。

以上の点をよろしくご賢察のうえ、本年度も城北会の会員の皆様には一層のご支援とご協力をなにとぞお願いする次第です。

寄附金収入のうち、2007 年度から始めました城北会年会費と一緒に振り込む「口座自動振替ご寄附」（継続賛助会員）は、初年度の 2007 年度 25 件、4 年目の 2010 年度は 56 件、7 年目の 2013 年度は 68 件で、本年度 2014 年度は 79 件、565,000 円でした。本年度も、城北会年会費 2,000 円と奨学基金へ 1,000 円、戸山教育助成へ 1,000 円と是非積み上げてお振込頂きたく、継続賛助会員の皆様にはご協力をお願いいたします。

なお、2014 年度の公益財団法人深井奨学財団に関する詳細な決算及び財務諸表は、定時深井奨学財団評議員会による所定の手続を得たうえで深井 HP で電子公告いたしますのでご覧願います。